

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表	
事業所名	てらびあぽけっと昭島中神教室
公表日	2026年 1月 20日

利用児童数 46 人 回収数 30 件 割合 65%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29			1	小人数活動にちょうど良い広さがある。	小人数や個別のプログラムを行う際に 周囲環境の情報量が多ならないよう 整理整頓を行っております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	30				1対1でついでくれるのでサポートを 受けることで難しい事でも出来た経 験を積むことが出来る	お子さまの成長や課題に合わせて適切 なプロンプトを行っております。今後も 安心できるような関りをしていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。 また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配 慮が適切になされていると思いますか。	28	1		1	子ども用の小さいトイレがある	お子様の体格などに合わせて大小2種 類の洋式トイレを設けております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こ ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30				使ったものを毎日消毒しているとい う事で安心している。	お子様が安全に過ごせるように1日2回 清掃と消毒を行っています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けら れていると思いますか。	27	3			毎回のフィードバックを通して細かく お話を聞ける。	今後もお子様がリズムウォークや個別 プログラムに取り組んでいた際に見ら れた良かったことなど丁寧に説明して まいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っている と思いますか。	28	2			送り迎えの時に話したことも反映して いくれている。	毎日の申し送りや定期的な面談にてお 話を伺い、可能な限りお応えしたいと 思っております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された 上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29	1				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき 支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの 支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されてい ると思いますか。	27	2		1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	2			家庭で起こっている困りごとにも対 応してくれる。	お困りごとがありましたら家庭内外問 わずどんなことでもご遠慮なくお申し 付けください。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	3		2	子どもの興味に合わせて様々なプロ グラムをしている。	難しい事や抵抗がある事でもお子様ご との興味を活かしながらプログラムを 行わせていただいております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する 機会がありますか。	12	5	5	8	現在その様なものがあるというお話 は頂いていません。	現在、利用者様と他機関と活動は無い のですが、通園先へ様子を伺わせて頂 いたり、私たちが教えて頂くことが多い です。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な 説明がありましたか。	30					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27		1	2		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家 族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	6	5	6		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共 通理解ができていますか。	30				担当が変わったとしても話を共有し てくれている。	お子さまのこだわりを強化しないため、 担当をつけておりませんが、全員で共 有できる様カンファレンスや毎日のミー ティングを行っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	1	2	2	日々大きく成長しているのがわかり 嬉しいです。	いつも支援へのご理解とご協力ありが とうございます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	1			困ったことをお話しした際に大変丁寧 に対応していただけました。	まずは傾聴することを第一に考えてお ります。そのうえで、お困りごとにお返 事でできればと思っております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が 設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベント の開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの 支援がされていますか。	4	4	10	12	現在その様なものがあるというお話 は頂いていません。	現在の所保護者会は考えておりません が、面談などでお越しいただいた際 に、すべての保護者様に支援の様子を 見ていただけるよう努力いたします。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているととも に、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相 談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	4		7		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	5	2	8	インスタを拝見しています。	インスタグラムは週1日は必ず上げる様にしています。また定期的な手紙などの配布も行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26			4		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	4	3	9	非常時になったことがないのでわかりません	契約時にお話していますが、再度皆様にお伝えしてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	7	2	12		適宜行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	4	1	6	非常時になったことがないのでわかりません	ヒヤリハットがおきた時など、その日のうちにカンファレンスを開き、対応を検討し次の日の職員へも共有しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	3	1	7	非常時になったことがないのでわかりません。	支援中のけがなどはその場で処置し、保護者へご連絡差し上げています。幸い、大きな事故や怪我などは今のところありません。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27	2		1	楽しく通所して頂いています。共通所があることを知ると「やった」と嬉しそうです。	今後も安心して頂けるように笑顔でお迎え入れをしてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	3			楽しかったよと言っています。仲のいいお友だちのことも家でお話してくれることがあります。	お子さまが楽しく通所できる様、職員や他児との関りを今後とも大切にしてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30				発語が増えてコミュニケーションが取れるようになりました。とても感謝しています。	ありがとうございます。期待に応えられる様日々、専門的な知識などの自己研磨に努めます。

事業所における自己評価結果						
公表						
事業所名		てらびあぼけっと昭島中神教室				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	利用数を把握し管理をしっかり行っている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	利用管理を適切になる様徹底している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	鏡が気になってしまうお子様の為に、反射する窓ガラスにカーテンを配置し集中できるようにした。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	色が統一され、装飾もスペースを設けて視覚的刺激が多すぎない様にしている	たまにハサミの課題の際に捨て忘れた紙の破片が落ちていることがある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	利用数と部屋数が合う様に利用管理を徹底している	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	3	毎日のカンファを行うことや面談記録の共有等、又、コミュニケーションをよくとることを意識し意見を反映させる環境作りに務めている	カンファレンスで目標設定や振り返りに近い事は行っているか?PDCAとは認識していない
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	ソーシャルセラピーの実施をご希望に合わせて増やした。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	常時行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	上層部の訪問が2ヶ月ほど前に合った。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	本部等の研修に参加しています	利用や配置を考慮しながら研修に参加できる時間をより多く作っていく
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	支援プログラムは専用の連絡帳に記載しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	毎日のカンファ記録や毎プログラムのデータ等、又見学記録や面談記録をもとに作成している	初回時前にできるだけ保護者からの詳細な聞き取りができる様、丁寧な対応を行う
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	職員全員の見解が記録されているカンファ記録等をもとに計画書原案を作成し、原案をもとにカンファを行っている	原案をもとに行うカンファの時間をふやしていく
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	計画書コピー等を個人ファイルに入れ、毎回のプログラム考案時に計画に沿ったものになっているか確認を行っている	計画書や面談記録等、より深い利用者理解に繋がる様、個人ファイルをより見やすく整理していく
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	本部からのアセスメントに基づいておこなっている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	5領域を考慮しながら利用者に合わせた本人支援を設定し、利用者のおかれた環境を考慮した家族支援、地域連携の項目を設定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	毎日のカンファで行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	担当を変える事で固定化にならないようになっている。また、担当の固定化を防ぎ研修等参加し新しい情報を入れている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	基本個別だが、今年はソーシャルセラピーの実施を増やすことが出来た。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	支援開始前に全職員で話し合いながら支援内容を決め、役割を分担している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	丁寧に報告を行い課題を振り返り、支援の改善点やよかった点を共有し次回からのように対応していくか具体的にアイデアを出す	難しい事象があれば、カンファレンスを再度行い、情報共有をしている。

関係機関や保護者との連携	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	児童ごとに毎回記録を取っていますデータをとり、個別ファイルに詳細を記入し次回支援に繋げる	PCでも入力できるようにし、漏れのないようにしているので活用していきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	参加したことはない 現在は開催がない	今のところはないが、今後あれば積極的に参加したい。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	保育園、幼稚園等連携をとり訪問等を行っている	全てではないが、関係機関との連携はできている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	それぞれの立場や障害に関しての捉え方が違う為、難しいと感じることが多い	幼稚園・保育園さんとは連携を図り、毎月訪問へ伺い共有や、支援、保育について教えていただいている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3	保護者様が動かれていることが多い	児童発達支援事業所から学校へはハードルが高く、その機会をあまりいただけない。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	5	研修等(連絡会も)開いて頂き、以前よりも助言を受ける機会が増えている	事業所内に伝達するケースの研修もあり、数名受けてもらい、教室内でFBを行い全体共有をしている。
保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	0		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	2	利用時に状況を共有している。聞き取り内容を支援に取り入れ、その状況をまたお伝えし共有している。	共通理解が難しいと感じる時は、失礼のない程度で何度かお伺いしている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	保護者への研修等は行っていない。連絡帳や申し送りを活用しアドバイスを行う。	張り紙を毎月替えるようにし、申し送りの際お声がけするようにしている。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	申し送り時に聞きとりをしています	契約時からその後、日々の申し送りで申し出があれば、適宜対応し作成をしておしている。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	毎回の申し送り、面談、電話	できるだけ不安や疑問を持ち帰りされないよう配慮しているが職員間で話し合わなければならないすぐに対応できないことが多い。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4	保護者間で通園と周知したくないとの声が多い	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	申し送りを丁寧に行い必要時、要望あればすぐに面談を行う	その日中にカンファレンスをするが、答えが出ない時は日をまたぐこともある。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2	お便りやSNSを活用しています Instagram等	イベントや日々の様子はすぐにアップするようにしています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		事前の同意書の配布や、事業所間連携・保護者様同士など、適宜お伺いしながら取り扱っております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		聴覚や視覚優位など、個々に合わせ、ツールを選択し配慮しております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	現在その様な催しは行っていない。	周知が低いようなので、Instagramを活用している。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	契約時に説明している	マニュアルを見てはいるが、再度TPOに合わせて行動できる様に徹底を行う。

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		年長さんに向けたソーシャルセラピーとして支援、プログラムにも取り入れていきたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	見学、契約時のアセスメントで行っている。また、対象の児童の個別ファイルに対応マニュアルをはさむことでいつでも確認できるようにしている	事業所内でできる最低限の処置もお伝えした上で、緊急時の対応も伺っている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	提供はしていない 食事はないので今のところ対応はしていない	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	計画はしたが、まだ改善の余地がある。ヒヤリハットなどを参考に見直しを行いたい。	全体共有は行っているが、もう少し理解を深めていけたらと思う。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	小さなことでも共有し再発しない姿勢でいる	その日のうちにカンファレンスを行い、対応策を検討し、翌日には共有しております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	2	説明はしているが身体拘束は行っていない 基本ない方向で考えている	今後、もし行動障害のお子さまなどのご相談があった場合は検討していきます。

事業所における自己評価総括表				
公表	2026年 1月20日			
○事業所名	てらびあぼけっと昭島中神教室			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年 12月 1日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数)	30
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年 12月 1日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	申し送りの時間が十分に確保されているので保護者様のお困りごとを聞きながら1人1人の成長に合わせたプログラムを組むことができます。また対1でのセラピーを行えるので1回の支援でお子さまをしっかりと支援することができます。	担当制ではない為、日々の支援でずれがないように必ず1日の最後に全員でフィードバックを行ったり個別ファイルのメモ欄を活用したりしております。ニュアンスの違いなどを避けるため、細かな所まで共有できる様心がけております。	日々の困り事などをお話して頂けることがますます増え、次のクールが始まる時間になっても申し送りが続いてしまうケースがありました。そのため、申し送りの時間は実績に書かれた終了時間までに必ず終わらせる対応を取らせていただきます。
2	年長さんだけでなく年中・年小さんに向けてのソーシャルセラピーも行うようになりました。実際にお友達同士の関りを通じてより実践的な支援を行う事ができます。	年長さんは今まで通り小学校生活を基盤としたソーシャルセラピーを行い、年中・年小さんにはお友達との関りかたを学ぶことや周りへ意識を向けることを目的としたソーシャルセラピーを主に行ってきました。	ソーシャルセラピーを行うと良い効果が期待できそうなお子様の組み合わせで行えるように、振替や追加を希望された際には相性がよさそうなお子様のクールを提案していきたい所存です。
3	825項目の基準ステップを基に、お子様の発達に合わせたセラピーを専門の指導員が組み立てます。こまかく段階分けされたステップを一つずつ登っていくことによって、目標を達成していくプロセスを見つけていきます。	基準ステップをどの程度達成しているかをセラピー中の児童の様子だけで無く園訪問時との先生方との会話内容や、申し送り・面談時に頂いた保護者様から頂いたお話から考察し連携した支援を行える様にしております。	個別ファイルにデータを入れたものの視認性が悪くその日のプログラム作成のために誰でもすぐに応用出来るものとはとても言い難いので改善を図り面談時の話し合いにより基づいた支援を行いたい。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別セラピーなので必要以上に声を掛けてしまうことがあります。その結果、ソーシャルセラピーを行った際に児童が指示待ちになってしまうことがあります。	我々の個別支援はプロンプトを行う事で、課題を達成させそれを強化する事で成功体験としております。しかし、成功させることだけを考え、プロンプトを減らすことを視野に入れてセラピーを行えていなかったことがこの結果につながったと考えられます。	もう一度、児童への声掛けの内容を具体的に職員間で見直し共有することで一貫して「プロンプトを徐々に減らして最終的には一人でできる様になる支援」を目指していきます。
2	保護者様が児童のお迎えに来られたときに駐車場が混雑したり、申し送りの際に玄関ではスペースが足りず比較的狭い通路で行うためそこが混雑することがあります。	今年度は契約児童数が大幅に増えました。しかし、お迎え時の流れを昨年度と全く同じにしていたため増えた人数に対して適切な対応ができていなかったものと考えます。	児童保護者の送迎手段が車によるものか否かを把握し、それに基づきながら申し送り出来る時間の用途を職員間で声を掛け合いながら立てています。また、駐車場を増設したことで今年度からは混雑は解消される見込みです。
3	保護者会を行ったり、保護者が参加できるイベントが無いので保護者同士の関わりがありません。	面談時に児童に気が付かれないように個室の窓の外からセラピーに取り組む様子をご覧いただくことをしましたが教室内の情報量が増えると感じるお子様が多く通われていることや保護者間の人間関係に気を遣う負担を減らすことを考慮し、保護者が集まるイベントの企画はしておりません。	今年度はソーシャルセラピーを増やしました。交流を望まれる場合、まずソーシャルセラピーで児童間の仲を深め、それを家庭で保護者にお話することで交流の第一歩となれば幸いです。